



スモールステップ



九州南部が梅雨入りし、雨の季節が段々と東京に近づいてくる時季となっています。令和二年 3月より三ヶ月という長い自粛生活、各家庭の御努力を感謝申し上げます。まだまだ、完全に学校再開とはなりません、本日より分散登校として、各学年週一日からの登校をスタートさせます。新型コロナウイルス感染の第二波が心配されますが、感染対策を講じながら、充実した学校生活を送れるよう努めてまいります。

学校再開について

本日より段階的に週一日の登校から週四日の登校まで、ステップを踏んで授業を展開していきます。教育活動では、三密（密閉、密集、密接）を避ける意味で、次のような手立てを考えております。

- 1 原則、授業と授業の間に窓・戸を開けて換気を行う。近隣で工事している教室については、教室を離れる時に必ず換気を行うこととする。
- 2 今月中は学級・学年活動をメインに教育活動を展開します。例えば、中学部 2、3年生も、給食はランチルームでなく教室で摂ります。
- 3 特に小学部低学年の指導においては、密接を回避することは難しい状況にあります。マスクの着用等基本的な感染予防を徹底するとともに、必要な時はゴム手袋やフェイスシールド等を使用して対応し、前後に手洗いを徹底します。

今後も、手洗い、マスクの着用、咳エチケット等の励行が大切となります。学校でも指導をしてまいります。御家庭での御協力を重ねてお願いいたします。また、毎朝自宅での検温を行い、ピンクの健康チェック表の御提出をお願いいたします。

204通りの挨拶を楽しみに

児童・生徒の皆さんが登校し、玄関で挨拶できることを待ちわびていました。自粛生活の中でなかなか屋外に出られず、人と人との会話に制限がかかる重苦しい生活が続いていましたが、また今日から元気な挨拶を玄関で受け取ります。

児童・生徒の皆さんは、言葉で「おはよう」「おはようございます」と言える人、声や言葉は出せないけれど、顔と顔を合わせて御辞儀はできる人、目と目を合わせて意識して見つめることができる人。一人一人、204通りの挨拶を毎日期待しています。自由な会話が、心おきなくできる生活に早く戻ることを願って、毎朝の挨拶を楽しみにしています。

校長 杉本 順